

## 成果

昨年、一昨年に開催した日欧フォーラムを振り返っても、2024年の世界情勢は更に混沌としたものになったことが分かる。予想どおり、解決しなかったウクライナ戦争は益々混迷を深め、米国大統領選の結果と共に先が見通せなくなった。その大統領選も、米国内だけではなく、世界を分断の危険に晒している。そこに加えて昨秋に発生した中東における衝突、世界の右傾化とリーダーもしくは政党の交代も目立って来た。

我々が直面する課題を幅広く捉えすぎると焦点がブレるため、似た境遇面も多い日欧で共通するトピックに絞り、今年度は議論を行うことになった。とは言え、喫緊の課題は相互に影響し合っている。今回は、気候変動と温暖化が与える経済への影響と、それを取り巻く社会・政治環境について状況を整理し、日欧（特にドイツ）の考えを確認することにフォーカスした。今後も引き続きこの会議成果を広め、産官学界の指針を策定する際に役立てていただけることを期待したい。

ラウンドテーブル形式で開催したためオーディエンスはおらず、参加者のみの会議となったが、その8割以上が満足したとの結果となった。また、クオリティーについても全員が期待通り高い、もしくは期待以上だったとのアンケート結果だった。トピックはタイムリーであり、特にエネルギー安全保障と環境に関する地政学的展開のインパクトについて議論したセッションの評価が高かった。

意図したとおり、参加者所属先のミックスは大いに議論を盛り上げた。関係者には、その結果を各方面に発信していただきたい。JEFでは報告書の作成と送付、JEFウェブページへの掲載、議論の要旨と結果の方向性を産業界・政策決定者に説明していく。

これからも、世界各地域においてビジネスを実際に行う産業界の意見を伺い、学界での研究や政界にも反映できるような取り組みを進めていく所存である。